



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日
上場取引所 東

上場会社名 東邦アセチレン株式会社
 コード番号 4093 URL <http://www.toho-ace.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 恒嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 川上 英規
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 022-385-7692

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	26,414	4.3	1,019	18.7	1,138	16.6	717	17.3
25年3月期第3四半期	25,331	0.8	859	1.9	976	5.2	611	60.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 825 百万円 (28.2%) 25年3月期第3四半期 644 百万円 (45.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	20.54	—
25年3月期第3四半期	17.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	27,730	10,597	33.3
25年3月期	28,036	9,970	30.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 9,224 百万円 25年3月期 8,537 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	1.7	1,500	27.6	1,600	18.3	800	△17.8	22.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社()、除外 一社()
- (2) 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の : 有
 会計処理の適用
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期3Q	35,020,000株	25年3月期	35,020,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	85,541株	25年3月期	83,495株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期3Q	34,935,357株	25年3月期3Q	34,936,968株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策効果が実体経済への波及により景気が回復しているものの、景況感や消費者マインドの改善に一服感が見られ、欧州や新興国の景気減速懸念等もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の売上高は264億14百万円と前年同四半期に比べ10億83百万円(4.3%)の増収、営業利益は10億19百万円と前年同四半期に比べ1億60百万円(18.7%)の増益、経常利益は11億38百万円と前年同四半期に比べ1億62百万円(16.6%)の増益、四半期純利益は7億17百万円と前年同四半期に比べ1億5百万円(17.3%)の増益となりました。

セグメント別業績の概要は次のとおりであります。

ガス関連事業

ガス関連事業におきましては、酸素は造船・鉄鋼向けが、窒素はエレクトロニクス・半導体向けの需要が減少いたしました。また、溶解アセチレンは公共工事向けの需要が堅調であり、水素は前年同四半期と同等の需要がありました。また、液化石油ガスは輸入LPG価格の上昇に伴う販売価格の値上げにより売上高は増加いたしました。

以上の結果、当部門の売上高は153億22百万円と前年同四半期に比べ3億70万円(2.5%)の増加、営業利益は12億31百万円と前年同四半期に比べ55百万円(4.7%)の増加となりました。

器具器材関連事業

器具器材関連事業におきましては、溶接材料は自動車生産向けの出荷が減少いたしました。また、溶接切断器具及び生活関連器具の需要が増加したことにより売上高は増加いたしました。

以上の結果、当部門の売上高は77億9百万円と前年同四半期に比べ74百万円(1.0%)増加いたしました。また、営業利益は98百万円と前年同四半期に比べ14百万円(12.7%)の減少となりました。

その他事業

その他事業におきましては、機械等の需要及び自動車関連機器の設備投資需要が増加したことにより売上高は増加いたしました。

以上の結果、当部門の売上高は33億82百万円と前年同四半期に比べ6億38百万円(23.3%)の増加、営業利益は3億6百万円と前年同四半期に比べ1億38百万円(82.3%)の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、277億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億5百万円減少いたしました。この主な要因は、有形固定資産が減少(3億円)したことによるものであります。

負債は、171億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億33百万円減少いたしました。この主な要因は、借入金が増加(8億82百万円)したことによるものであります。

純資産は、105億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億27百万円増加いたしました。この主な要因は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加(6億47百万円)したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の業績予想につきましては、平成25年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,998,325	4,250,453
受取手形及び売掛金	9,977,657	9,379,141
商品及び製品	972,510	1,042,718
仕掛品	129,802	243,302
原材料及び貯蔵品	73,774	79,025
その他	371,653	427,729
貸倒引当金	△60,464	△41,778
流動資産合計	15,463,261	15,380,591
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,859,023	2,780,578
機械装置及び運搬具(純額)	1,344,665	1,255,390
土地	5,901,214	5,792,383
その他(純額)	549,086	525,525
有形固定資産合計	10,653,990	10,353,879
無形固定資産	242,252	187,392
投資その他の資産		
投資有価証券	1,005,628	1,144,054
その他	751,662	745,112
貸倒引当金	△80,556	△80,687
投資その他の資産合計	1,676,734	1,808,480
固定資産合計	12,572,977	12,349,752
資産合計	28,036,238	27,730,344
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,698,606	6,647,732
短期借入金	5,985,682	5,720,712
未払法人税等	256,235	300,024
賞与引当金	305,853	157,420
役員賞与引当金	24,630	2,300
その他	905,492	1,072,323
流動負債合計	14,176,499	13,900,513
固定負債		
長期借入金	1,945,936	1,328,552
退職給付引当金	1,211,856	1,198,285
役員退職慰労引当金	397,205	412,009
資産除去債務	5,067	5,138
負ののれん	6,873	4,080
その他	322,704	284,564
固定負債合計	3,889,645	3,232,630
負債合計	18,066,144	17,133,143

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261,000	2,261,000
資本剰余金	905,452	905,452
利益剰余金	5,303,414	5,951,133
自己株式	△8,494	△8,742
株主資本合計	8,461,371	9,108,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76,158	115,835
その他の包括利益累計額合計	76,158	115,835
少数株主持分	1,432,563	1,372,521
純資産合計	9,970,093	10,597,200
負債純資産合計	28,036,238	27,730,344

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	25,331,741	26,414,914
売上原価	18,371,936	19,349,662
売上総利益	6,959,805	7,065,252
販売費及び一般管理費	6,100,592	6,045,656
営業利益	859,213	1,019,596
営業外収益		
受取利息	1,753	1,169
受取配当金	9,805	12,218
受取賃貸料	67,575	61,300
持分法による投資利益	60,188	51,444
負ののれん償却額	12,428	2,792
その他	90,902	68,967
営業外収益合計	242,653	197,894
営業外費用		
支払利息	102,064	65,629
手形売却損	1,773	2,098
賃貸費用	11,661	8,789
その他	9,956	2,429
営業外費用合計	125,456	78,947
経常利益	976,411	1,138,542
特別利益		
固定資産売却益	5,214	11,716
投資有価証券売却益	—	199
災害支援金	10,430	—
補助金収入	991,666	88,358
負ののれん発生益	22,929	104,923
特別利益合計	1,030,241	205,197
特別損失		
固定資産除売却損	17,194	19,255
固定資産圧縮損	—	73,657
減損損失	802,365	—
投資有価証券売却損	70	—
投資有価証券評価損	499	—
特別損失合計	820,129	92,912
税金等調整前四半期純利益	1,186,522	1,250,827
法人税等	476,964	476,232
少数株主損益調整前四半期純利益	709,558	774,594
少数株主利益	97,706	56,911
四半期純利益	611,852	717,683

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	709,558	774,594
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66,847	50,344
持分法適用会社に対する持分相当額	1,442	903
その他の包括利益合計	△65,404	51,247
四半期包括利益	644,153	825,842
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	564,706	757,359
少数株主に係る四半期包括利益	79,446	68,482

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,952,439	7,635,249	2,744,052	25,331,741	—	25,331,741
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,952,439	7,635,249	2,744,052	25,331,741	—	25,331,741
セグメント利益	1,176,179	112,546	168,172	1,456,898	△597,685	859,213

(注) 1 セグメント利益の調整額△597,685千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

旧本社ビル(東京都中央区東日本橋)売却に伴い、報告セグメントに含まれない全社資産の減損損失を当第3四半期連結累計期間において802,365千円計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,322,516	7,709,406	3,382,991	26,414,914	—	26,414,914
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,322,516	7,709,406	3,382,991	26,414,914	—	26,414,914
セグメント利益	1,231,316	98,209	306,577	1,636,103	△616,507	1,019,596

(注) 1 セグメント利益の調整額△616,507千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「ガス関連事業」セグメントにおいて、連結子会社が自己株式を取得したこと等により、負ののれん発生益を当第3四半期連結累計期間において100,994千円計上しております。

「器具器材関連事業」セグメントにおいて、子会社株式の取得により、負ののれん発生益を当第3四半期連結累計期間において3,928千円計上しております。

なお、特別利益に区分されるため上表には含まれておりません。